ウェルネス・コミュニケーションズ… サービス業 ｜ グロース（内国株式） ｜ 決算期 3月31日 ｜ …

証券コード 366A

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

パーパス

ウェルネス・データで、未来をつくる。

健診出荷数	Growbase I
38.8万件	174.4万ID

2 中長期の経営戦略

1. 大企業市場の深耕

Growbaseの機能拡充（メンタルヘルス、eラーニング、組織分析等）と産業医・保健師紹介によるソリューション拡充でACV向上を図る。

2. 健康管理プラットフォーム化

人的資本経営支援、福利厚生連携、API強化により健康管理プラットフォーム化を推進。蓄積データに基づくソリューション開発。

3. ネットワーク健診サービス高度化

メニューとサービスモデルの再構築・拡充により高付加価値化を推進。業務効率化とシステム化を強化。

4. 全社デジタル化推進

2025年3月期よりCoE設置。オペレーション効率化、システム基盤強化、データ利活用に技術投資。

3 対処すべき課題

① 健康保険組合の財政悪化

・健保の慢性的財政状況悪化に伴う健診対象年齢・条件見直しのリスク
・検査項目削減等による受診条件変更の懸念

② 医療機関等支援事業の継続性

・PET関連事業が2026年3月31日に契約期間満了。契約更新されないリスク存在。
・新たな検査施設向けソリューション開発・開拓が急務。

③ 健診代行市場での競争強化

・福利厚生企業や労働衛生機関等との競争激化に対応
・システム化・高付加価値化による差別化が必要

面接で使えるポイント

・少子高齢化による生産人口減少下で、Growbase利用者174.4万IDを拡大させ…
・2025年3月期からCoE設置で全社デジタル化推進。オペレーション効率化と高品質サービス提供の両立を目指す。
・メンタルヘルス、eラーニング等の機能拡充と産業医・保健師紹介で、心身一元管理のプラットフォーム化を加速。

出典: 金融庁EDINET 有価証券報告書「経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」（書類ID S100W8AL）
原文を生成AI（claude-haiku-4-5-20251001）が要約・再構成したものです。正確な内容は原文をご確認ください。

ウェルネス・コミュニケーションズ…

サービス業 ｜ グロース（内国株式） ｜ 決算期 3月31日 ｜ …

証券コード 366A

業績の推移（売上＝棒 ／ 営業利益＝線）

–（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高	営業利益率	財務健康度
148億円	8.0%	82点 ／100点

将来性 晴れ時々曇り ／ 就活偏差値 44.8（当サイト算出の参考指標）

要するに

疾病予防と健康増進の領域を専門とする企業

主力事業・セグメント

・医療Checkupソリューション　88.1%
・ヘルスマネジメントクラウド　10.3%
・医療InstitutionSup　1.6%

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率8.0%の安定した収益性
・財務健康度82点と財務基盤が健全
・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収	平均年齢	平均勤続	女性管理職	男性育休
610万円	40.0歳	5.0年	26.4%	–（未開示）
サービス業内 236位/524社	サービス業内 203位/527社	サービス業内 340位/527社	サービス業内 113位/371社	

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: ウェルネス・コミュニケーションズ(株)【366A】：決算情報